

宮坂建設の4現場 無災害表彰 帯広労基署 5現場に快適職場認定証も



各現場の代理人らに表彰状や認定証を授与した

▽道橋断道浦幌町炭山第2トンネル①7808人②6万2464時間▽242号池田町千代田大橋解体①4225人②3万3800時間▽道橋断道浦幌町川上改良①2860人②2万2880時間▽道橋断道本別町本別東改良①3577人②2万8616時間

【帯広】帯広労基署はこのほど、同労基署で建設無災害表彰などの伝達式を行った。無災害表彰で宮坂建設工業の4現場に表彰状を授与。3社2共同体が施工する計5現場には快適職場推進計画の認定証を伝達した。

無災害表彰を受けたのは、道橋断道浦幌町炭山第2トンネルなど4現場を施工した宮坂建設工業。延べ7808人が6万2464時間で無災害を達成した。同トンネルの現場代理人は「作業所が一丸となって、リスクマネジメントに取り組んだ結果では」と話している。

快適職場推進計画の認定証は、3330号広尾町音調津橋ほか補修（拓殖・北英共同体）、274号清水町熊牛橋ほか架け換え（アスワン）、3・2・309 2丁目通大

成橋架け換えほか下部1工区（萩原・北英・沢田共同体）、笹川土俵線交236改良北新橋下部（斉藤井出建設）、道東道帯広管内舗装補修（三井住建道路）の5現場に伝達。

アルコール消毒液を置いたり、作業員専用のタオルやおしほりを用意するなど、新型コロナウイルスの感染予防に努めている現場もあった。

羽生和彦署長は、無災害表彰の4現場代理人に「次の現場でも無災害を」と要請。その他の現場代理人らには「快適な職場は安全につながる。申請事項をしっかりとやって、無災害へとつなげてほしい」と呼び掛けた。

建設無災害表彰対象現場の概要は次の通り。
①実労働延べ労働者数
②延べ労働時間数